

送電線基礎データ誤りの原因と再発防止策について

誤り内容		誤り原因	再発防止策
入力誤り	データ入力の際に、数字の入力を誤った。	短時間で大量のデータを整理	データの入力や修正を行う場合は、 ダブルチェック体制 （複数による確認）とし、誤りの防止を行う。
	基礎データ作成のため、原簿等から転記する際に、数字の入力を誤った。	入力時の確認不足	数字入力を行う場合には、複数名で実施する（ ダブルチェック ）さらに、 入力完了後、再チェックを実施 する。
撤去物件及び重複物件の消し忘れ	既に撤去されている物件を削除するところ登録したままにしていたり、同じデータを重複して登録していた。	短時間で大量のデータを整理	原簿の管理を徹底 。基礎データの管理についての 管理体制を構築 するとともに、記載内容に誤りが無いよう、複数名で確認を行う（ ダブルチェック ）。
読み取り誤り	地図等の管理図面から緯度経度等を読み誤った。	データ作成時の確認不足	新規物件や改修物件については、GPSデータを取得するなど、 正確な測量を実施 し、地図等から読み取った データとの照合 を行い、正しいデータを反映させる。

注) 但し、地図（5万分の1）等から読み取ったデータであるため精度の限界がある。